

子ども会の花まつり開催されました

五月五日は子どもの日、そして安食西ではお釈迦さまのお誕生をお祝いする「花まつり」が子ども会の主催で毎年行われています。このイベントは、六〇年以上も前に、大橋貞三さんが、子どもたちのために白像を作ってくださり、それを引っ張って歩いたのが始まりだと聞いています。やがて子どもが増え、全員で象を引っ張ることができなくなったため、高学年の児童は小太鼓を担いで鳥居頭まで歩いたこともありました。また、たくさんのお花を集めてきて花御堂に貼り付けたら、御旅所で冷たいジュースをいただいたら、私自身も楽しい思い出として残っています。その後、白像が

老朽化してきたことから、岡野清胤さんが、新しく二代目の白像を作ってくださり、現在に至っています。今年も、覚浄寺の本堂で、お勤めをし、紙芝居を見て、お釈迦さまに甘茶をかけ、みんなで甘茶をいただきます。その後、公民館までお釈迦さまを乗せた白像を引っ張って歩きました。総代の田中三郎さんや区長の馬場徹さんも参加してくださり、楽しいひとときでした。

ところで、安食西の小学生は全学年合わせて五人で、一、二年生はいないのでそうです。数年後には今のような花まつりはできなくなってしまうかもしれません。この楽しい思い出をいつまでも大切に残していきたいものです。

六月になると、いよいよ梅雨の便りが届くようになります。植物はぐんぐん育ち、虫たちの活動も活発になります。修行する僧侶は、虫たちを踏まないように、雨季になるとお堂に籠って勉強をしてきました。これを「雨居(あんど)」といいます。

雨は鬱陶しいですが、こんな時こそ普段できない読書やインドアの趣味などに集中して「雨居」を実践してみるのも良いかもしれませんね。住職



6月(水無月)

- 七日(土) 南組組会
- 一五日(日) お講 十一時
- 二五日(水) 山科二十五日講
- 二八日(土) お花立て・幕吊り
- 二九日(日) 秋季永代経・虫供養

秋季永代経・虫供養

6月29日(日)
13:00

お取次：住職

みなさまお誘い合わせの上
是非お参りください。

お知らせ

親鸞聖人鑽仰会特別布教が、豊栄の郷で勤まります。冷房の効いた大ホールで法話を聴聞しませんか。参加される方は、住職までお声がけください。
日時 7月23日(水)
9:00~12:00
場所 豊栄の郷

清浄光のファイル

清浄光をファイリングする紙ファイル(A3版)が必要な方は、お寺に予備がありますので、お気軽にお声がけください。

AIと仏教

「もし、阿弥陀さまがスマートフォンをお使いになったら、どんなふうにならうか?」

最近、「AI(人工知能)」という言葉が耳にすることが増えました。難しく感じるかもしれませんが、すでに私たちの生活の中で、AIはとても身近な存在で役立ってくれています。たとえば、スマートフォンでの音声検索や、買い物の際に「おすすめ商品」を知らせてくれるネットショップ。さらには、畑仕事の支援や、お年寄りの見守りサービス、体調を記録する健康アプリにもAIが使われています。気づかないうちに、私たちは日々、AIの手助けを受けながら暮らしているのです。

仏教は、時代の変化に応じて人びとの心に寄り添い、いのちを尊ぶ道を説いてきました。AIもまた、人に代わって人を助けることを願って創られた存在です。もちろん、AIが仏さまの代わりになることはありません。しかし、阿弥陀さまの光を、今の時代のかたちで伝える道具のひとつとして、AIはこれからも私たちの良き相棒となってくれるでしょう。(注:この文章はAIに書いてもらいました)

6月の掃除当番は、横井豊さんです。お世話様ですがよろしくお願いたします。



清浄光はインターネットでもお読みいただけます

世のなか 安穏なれ





お寺めぐり(タイ)

ワット・サマーン・ワッタナーラーム

2019年6月からスタートした「絶景お寺めぐり」。コロナで長くストップした時期もありましたが、今回で30番目のお寺となりました。今月からはタイ・バンコク編をお届けします。

タイは、とてもユニークなお寺が多いことで有名です。地理的にインドや中国に近いことから、ヒンズー教や中国仏教・道教などの影響を受けて、お釈迦さまや観音さまとともに、さまざまなお寺がタイの人々に信仰されています。

写真の寝そべっているゾウのような巨像は、ピンクガネーシャとして大

人気の仏さまです。ガネーシャとは、もともとインドのヒンズー教の神様で、太鼓腹の人間の身体、片方の牙が折れた象の顔、そして四本の腕を持っています。障害を取り去り、財産をもたらすと言われ、タイでは人気の仏さまなのだとか。

ここのお寺はワット・サマーン・ワッタナーラームと言って、ガネーシャだけでなく、いろいろな大仏さまがおられます。さらに、ドラえもんやのび太くん、ピカチュウまでいて、まるでテーマパークのよう。タイのお寺はとにかくド派手。そしてワクワクするよ

うなハッピーな雰囲気があります。何よりも若い人熱心にお参りされている姿には感激しました。私も見様見真似でお花やお線香を上げてお参りをしました。
ピンクガネーシャはバンコクの郊外にあるため、乗り物を使い継いで行く必要があります。私は、最寄りの駅まで国鉄で、そこから三輪タクシーのトゥクトゥクを利用しました。熱帯のタイでは、トゥクトゥクは気持ちよくて最高ですが、シートベルトもなく、しっかり掴まっていないと振り落とされそうなスリルがあります。ま、そんな大らかなところがタイの人々の魅力なのかもしれません。 住職



住職の星空案内

なかなかスカッと晴れません。これから梅雨に入るので、ますます星を見る機会が減ってしまいそうです。とは言え、雨が降った後は、空気中の水蒸気やチリが少ないので、驚くほど透明度の高い星空に出会えることがあります。宇宙に散らばっている星雲や星団、天の川は、とても暗くて淡いので、街の明かりが少なく、クリアな空でなければ見るできません。滋賀県東部は、琵琶湖と山に挟まれているため、どうしても雲が発生しやすいのですが、すっきりした夜空を期待しつつ過ごしたいと思います。

写真は、以前も紹介したことがあるメシエ51という銀河です。ふたつの銀河が影響しあって腕がつながっていることから子連れ星雲などと呼ばれています。

くいずクイズ QUIZ

みなさん、「食前のことば」「食後のことば」覚えていますか？ 空欄を埋めてみましょう。

おおくの と

みなさまの により

このごちそうを ました

ふかく をよろこび

たく

いただきます

いおめぐみを

ください

ますます に

つとめます

で

ごちそうさまでした

先月号の答え

